BabySmile®

メルシーポット

電動鼻水吸引器 MerciPot S-504

取扱説明書　Ver. 4.0

ご使用の前に

安全上のご注意…… 2
製品の特長…… 6
商品の構成…… 7
各部の名称とはたらき…… 8

正しい使いかた

ご使用前の準備……10
吸引のしかた……12
吸引がおわったら……15

お手入れと保管について

洗浄・消毒……16
組み立てかた……19
保管について……21

困ったときに・保証など

故障と点検について……22
仕様と別売品について……26
保証規定と保証書……28

このたびは、電動鼻水吸引器メルシーポットをお買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
本書は品質保証書を兼ねています。無償修理の際に必要となりますので、大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための
ものです。安全にご使用いただくために、必ずお守りください。

警告サイン	説　　明
⚠警告	「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。
⚠注意	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図 記 号	説　　明
	してはいけないこと（禁止）を示します。
	しなければならないこと（必ず守ること）を示します。

ご使用に当たって

⚠警告

- メルシーポット S-504 は鼻汁を吸引する医療用吸引器ですので、必ず医師または医療従事者の指導のもと、使用してください。
- 本器に異常が生じた場合は直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。（万一、故障した場合は、内部機器には触れずお客様サービスセンターにご連絡ください。）
- ご購入後、初めてご使用になるときや、長期間ご使用にならなかったときは、使用前に清拭または消毒を行ってください。（本製品は未滅菌で出荷されます。）
- 吸引物が吸引ボトルの規定容量（220ml: MAXライン）を超えないようにしてください。（ポンプ内に吸引物が吸引されると故障の原因になります。）
- ロングシリコンノズルを使用する際は、必ず医師または医療従事者の指導のもと使用してください。



- アデノイド肥大や、鼻の粘膜が腫れている場合、生まれつき鼻腔閉鎖または鼻腔が狭くなっている場合、レーザー手術後の場合は使用しないでください。また、以上の症状が疑われる場合は必ず医師に相談してください。呼吸困難になる恐れがあります。
- 本器の使用目的以外の目的（採血用など）では絶対に使用しないでください。
- 本体各部に注油しないでください。
- 規定以上の連続運転はしないでください。（5分まで）
- 可燃性ガス雰囲気内で使用しないでください。（火災やけがの恐れがあります。）
- 絶対に分解・改造を行わないでください。（発火や感電、けがの恐れがあります。）
- 本体底面の排気口をふさがないでください。
- 本体および AC アダプターは防水構造ではないため、水やお湯などで丸洗いしたり、水に浸したりしないでください。（感電、ショートの恐れがあります。）
- 機器と接触する部分に傷や炎症、出血などが見られる場合は、使用しないでください。
- 付属の専用ACアダプター以外は絶対に使用しないでください。発火や故障の原因となります。



⚠注意

- 本器は周囲温度 +5 ～ +35℃、相対湿度 60%RH 以下（結露なきこと）の環境で使用してください。（正常に動作せず、症状が悪化する恐れがあります。）
- お子様が使用するときは、必ず保護者の方が付き添ってください。（誤った使いかたにより、症状が悪化する恐れがあります。）
- 部品は水気を十分に切ってから取り付けてください。（ポンプ内に水などが吸引されると故障の原因になります。）
- ボトルカバーへはフロートセットを必ず取り付けて使用してください。
- 水平で安定した場所で使用してください。



- 機器を倒さないでください。（ポンプ内に吸引物が入り、故障の原因となります。）
- 本体のすき間から内部に指や物を入れないでください。（感電や故障、けがの原因になります。）
- 本体を毛布やタオル等で包んだ状態で使用しないでください。（発熱や感電、故障の原因になります。）
- 吸引ボトル内に陰圧が残っている状態で、電源スイッチを「ON」にしないでください。
- 本体を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。（破損し、感電や故障する恐れがあります。）
- 吸引ボトルを落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 吸引ボトルに割れ、傷、カケがあるものは使用しないでください。
- 本製品の付属品および当社純正の別売品以外は使用しないでください。（正常に動作せず、症状が悪化する恐れがあります。）
- ボトルセットを本体と接続した状態で回転させないでください。（ボトル内の吸引物が本体の中に入り、故障の原因となります。）



電源について

⚠警告

- 必ず専用の AC アダプターを使用し、交流 100-240V（50-60Hz）で 15A 以上の容量があるコンセントに接続してください。（異なる電圧で使用すると、感電や発煙、火災の原因になります。）



- ぬれた手で電源コードや電源プラグを抜き差ししたり、触ったりしないでください。（感電によるけがをする恐れがあります。）



⚠注意

- 付属の AC アダプターは本機器専用です。他の機器には使用しないでください。
- コンセントは単独で使用してください。（火災や漏電の原因になります。）
- 電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。（感電やショート、発火の原因になります。）
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。（電源コードが破損して、感電や発火の原因になります。）
- 電源プラグやコンセントにほこりを溜めないように、定期的に清掃してください。（コンセントが熱を持ち、ほこりに引火することがあります。）
- 電源プラグを抜くときに妨げになる場所に、本体を置かないでください。



⚠注意

- 電源コードや電源プラグが痛んでいたり、コンセントの差し込み具合が緩いときは使用しないでください。
（感電やショート、発火の原因になります。）
- 電源コードを傷つけたり、重いものを載せたり、力を加えたりしないでください。
（発火、感電の恐れがあります。）



お手入れと保管について

⚠警告

- 本体および付属品は清潔な場所で保管してください。
（雑菌が繁殖し、感染の原因になります。）
- 部品の取り付け・取り外し、お手入れのときは、電源スイッチを「OFF」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
（感電や誤動作によるけがの原因になります。）
- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
（プラグにほこりが付着し、発火・火災の原因になります。）



- 子供の手が届くところには置かないでください。
（小さな部品を飲み込む原因になります。万一、飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談ください。）



⚠注意

- ご不要となった本体や付属品、別売品を廃棄する場合は、お住まいの自治体のルールに従って廃棄してください。（環境汚染の原因となることがあります。）
- 洗浄時の吸引においても、吸引ボトル内に吸引物がいっぱいにならないよう常に監視してください。
- 吸引物をポンプ側に吸い込んだ場合は配管内に溜まり故障の原因となるため、必ず製造販売元または修理業者による点検を受けてください。
- プラスチック部品は熱に弱く、変形することがありますので、ノズルや吸引チューブ等の部品を洗浄する際は、必ず水かぬるま湯をご使用ください。



- 本器をベンジンやシンナー等揮発性の薬品で拭かないでください。
（故障の原因になります。）
- 次の場所には設置および保管しないでください。
－化学薬品の保管場所、ガスの発生する場所（本製品は防爆構造になっておりません。）
－水のかかる場所
－ほこり、塩分、硫黄分、湿気などの多い場所（火災や感電の恐れがあります。）
－傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所（転倒や落下などで破損し、故障する恐れがあります。）
－直接日光の当たる場所（日光が当たっている部分が高温になり、故障する恐れがあります。）



保守点検について

⚠注意

- 使用前に必ず本体が正常かつ安全に動作することを確認してください。
- 日常点検および、保守点検（ユーザー点検）を必ず行ってください。
- 1年に1度は製造販売元または修理業者による年次点検、整備を必ず行ってください。（性能や安全性を維持できなくなります。）
- 定期的な清掃や点検をしてください。本器を永く安全にお使いいただくため、また突然の故障などを防ぐためにも、必ず本書に従った日常点検、保守点検（ユーザー点検）および定期点検を行ってください。
- 長期間使用しなかった場合は、点検に出す等作動上の安全を確認してから使用してください。
- 吸引器は、吸引配管内やポンプ内にミスト状の吸引物を吸い続けていますので、使用頻度によって吸引圧に影響がでてきます。必ず、製造販売元または修理業者による定期点検をお受けください。（有料）



洗浄・消毒について

⚠警告

- 部品を洗浄・滅菌または消毒した後は、十分に水洗いを行い、よく乾燥させてから清潔な場所に保管してください。
（乾燥が十分でないと雑菌が繁殖し、感染の原因になります。）



⚠注意

- 消毒の前に必ず洗浄を行ってください。
（汚れ、付着物などがついたままでは、消毒の効果が低くなります。）
- 消毒薬の希釈濃度および浸漬時間は、各種消毒薬の添付文書に従い用法、用量を守り正しくお使いください。
（高濃度、もしくは必要以上に長時間の浸漬消毒は部品を劣化させる原因になります。）
- 消毒薬に直接接触したり、気化したガスを吸わないように注意してください。
（手荒れを起こしたり、有毒なガスを吸い込んだりする場合があります。）



- 消毒薬は、他の消毒剤や洗剤と混ぜないでください。
（消毒剤の効力が損なわれたり、危険な成分が生じることがあります。）
- 煮沸消毒しないでください。
（熱により変形する場合があります。）
- 無水エタノール、クレゾール系、両性界面活性剤系およびイソプロパノール含有の消毒液は樹脂のヒビ割れ、印刷の剥がれ等を生じる可能性がありますので使用しないでください。

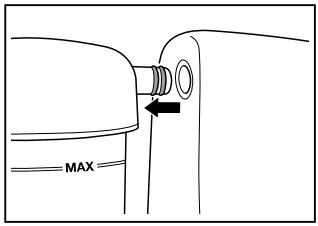


製品の特長

■スイッチひとつのかんたん操作でパワフル吸引を実現。
■赤ちゃんにやさしい、コンパクトで丸みのあるデザイン。
■鼻水吸引に必要十分なパワーで、安心してご使用いただけます。

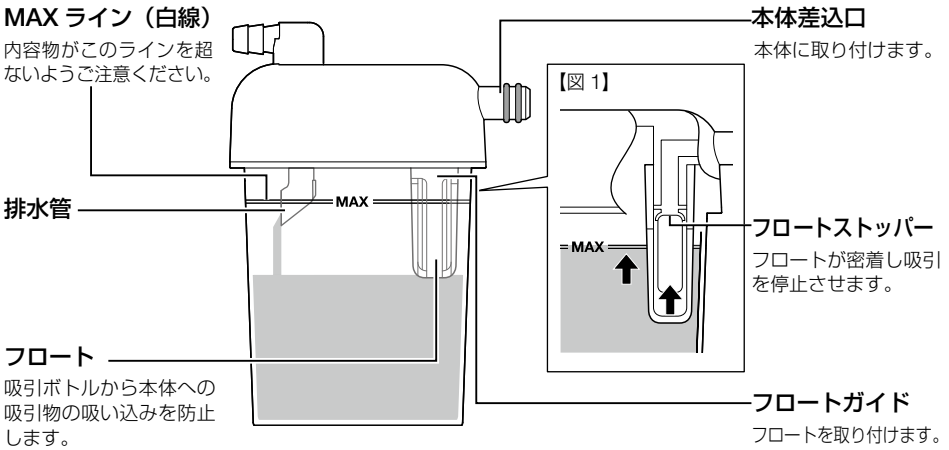
吸引ボトルの取り外し

ボトルカバーをスライドさせることで、吸引ボトルを本体から簡単に取り外すことができます。

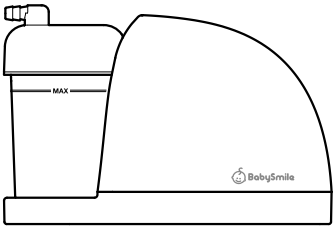


オーバーフロー防止装置模式図

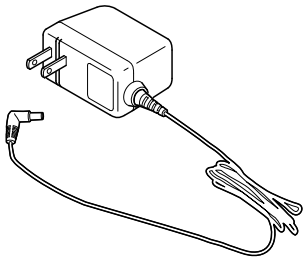
本器は吸引ボトルのオーバーフローを防止するためのフロートを備えております。
吸引ボトル内が吸引物でいっぱいになると、フロートがフロートストッパーに密着し、吸引が停止します。【図 1】
※フロートが機能しないことがありますので、吸引物が吸引ボトルのMAXライン（白線）を超えないように常に監視してください。
※フロート部分に汚れ等が付着した場合はすみやかに洗浄してください。



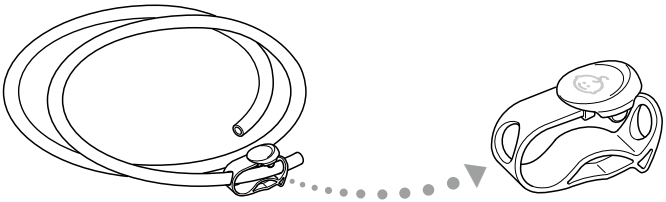
商品の構成



1. 本体＋吸引ボトル＋ボトルカバー
（フロートセット＋ボトルパッキン＋Oリング）

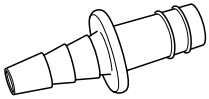


2. 専用 AC アダプター

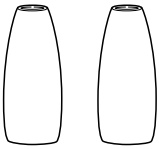


3. 吸引チューブ

4. チューブストッパー
（ベビちゃんクリップ）



5. ノズルコネクター
※吸引チューブに装着済



6. シリコンノズル
（スタンダードタイプ2個）

7. 取扱説明書兼品質保証書（本書）

8. 添付文書

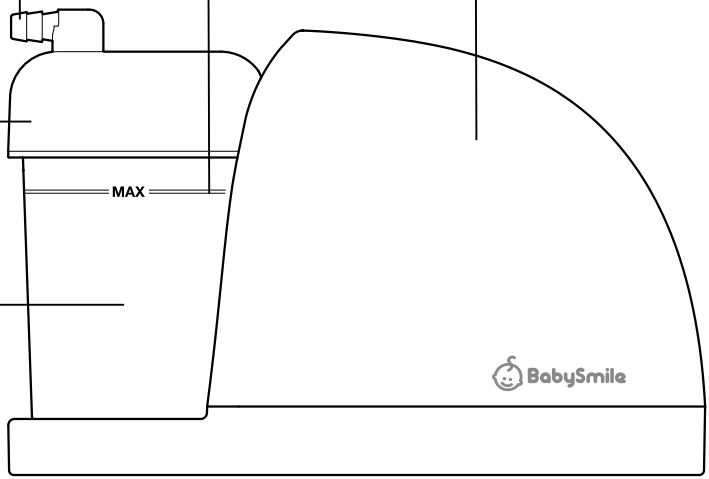
9. かんたんガイド

各部の名称とはたらき

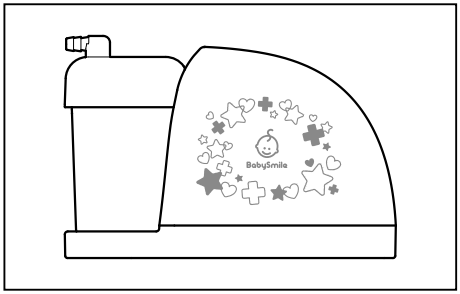
吸引チューブ接続口
ボトルカバーと一体となっています。
吸引チューブを差し込みます。

MAX ライン（白線）
吸引ボトルの限度容量を
示しています。

本体



本体正面



暗い所でイラストが光ります。

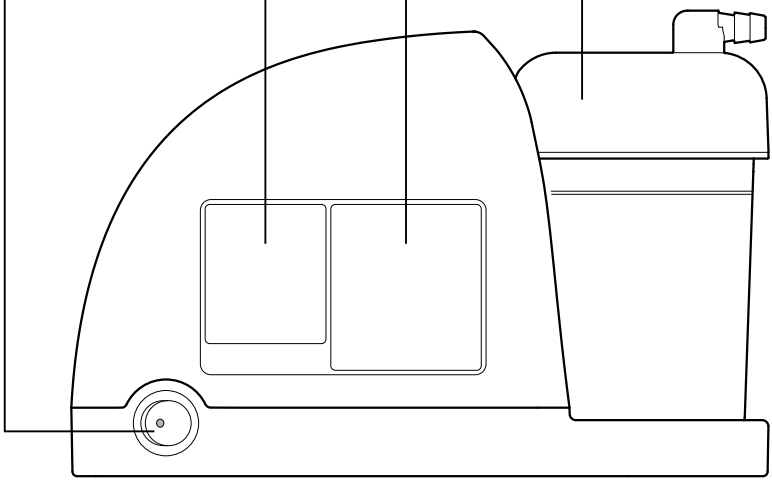
※本体に 1 時間程度光を当てると、約 20 ～ 40 分間発光します。
※発光時間や明るさは、蓄積された光の量などにより変わります。

電源スイッチ
電源の「ON」「OFF」を
切り替えます。

定格銘板

注意書き

ボトルカバー
スライドさせることにより吸引ボトル
を取り外すことができます。

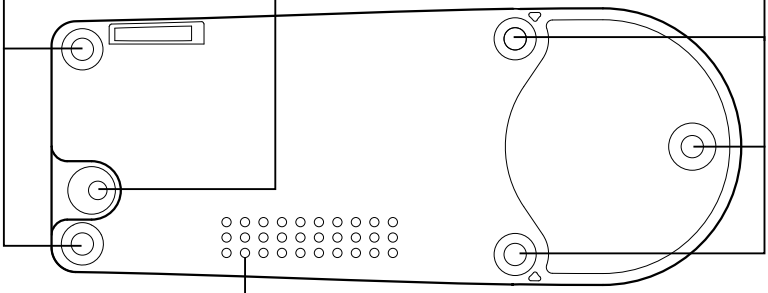


本体背面

ゴム足（吸盤タイプ）

DC ジャック
専用 AC アダプターのピンプラグを
差し込みます。

ゴム足（吸盤タイプ）



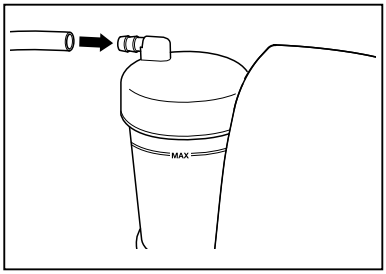
本体底面

排気口
本体の外へ空気を排出します。

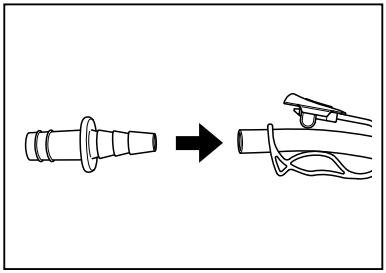
ご使用前の準備

本体の組み立てかた

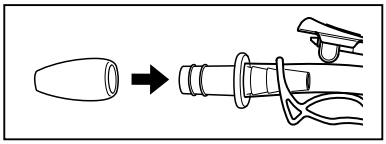
1 本体を安定した場所に置き、吸引チューブ（クリップのついていない方）を吸引チューブ接続口に接続します。



2 本体に接続した吸引チューブの反対側に、ノズル コネクターを接続します。
細くなっている方をチューブに差し込みます。
※お届け時は、吸引チューブに装着済

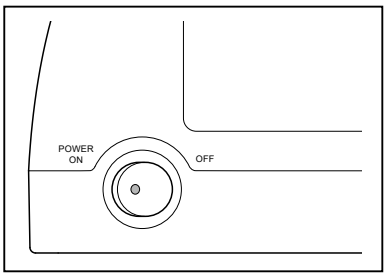


3 ノズルコネクターにシリコンノズルを接続します。

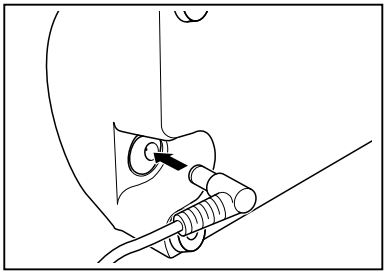


電源の準備

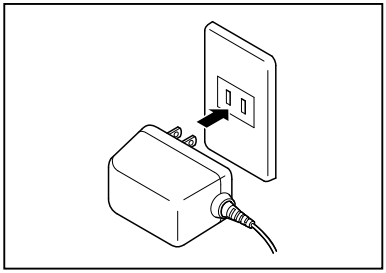
1 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。



2 専用 AC アダプターのピンプラグを本体の DC ジャック に接続します。



3 電源プラグをコンセントに差し込みます。



⚠警告

- 電源は交流 100-240V(50Hz-60Hz)を使用してください。異なる電圧で使用すると、感電や発煙、火災の原因となる恐れがあります。
- 付属の専用ACアダプター以外は絶対に使用しないでください。発火や故障の原因となります。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

⚠注意

- シリコンノズルを鼻から抜いた状態で、電源を「ON」/「OFF」してください。

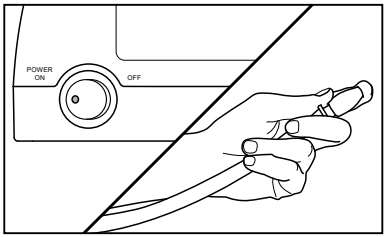
- 吸引ボトル内に陰圧が残っている状態で、電源スイッチを「ON」にしないでください。

吸引のしかた

鼻水吸引のしかた

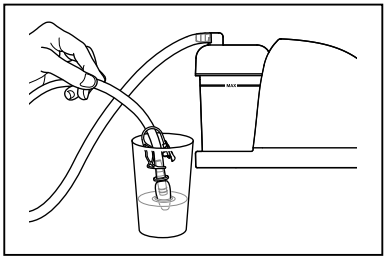
※吸引中は感染防止のために、使い捨ての手袋等を装着することをおすすめします。
※本取扱説明書では、操作方法の説明を見やすくするために手袋は装着していません。

1 本体背面にある電源スイッチを「ON」にします。
シリコンノズルの先端を指で押さえて空気の流入を止め、吸引ができているか確認します。



2 シリコンノズルの先端から指を離し、吸引チューブ内に水を10～20cc程度通します。

※ 必ず水かぬるま湯をご使用ください。
※ シリコンノズルの先端から指を離すと吸引圧が下がります。これは空気が流入することによる自然な現象で、機器の異常や故障ではありません。
※ 水を通すのは吸引チューブの内部に吸引物が付着するのを防ぎ、吸引したものがスムーズに吸引ボトルに送られるようにするためです。

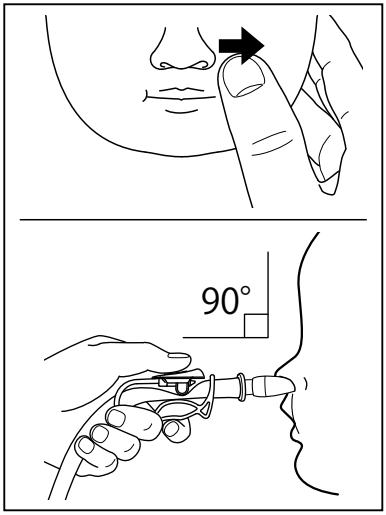


3 小鼻の横あたりを指で顔の外側に引っ張ります。

※ 引っ張ることで鼻水がたまっているポイントにノズルの先端が届きやすくなるため、吸引しやすくなります。
※吸引していない方の鼻は絶対に塞がないでください。両方の鼻が塞がった状態で吸引すると耳に負担がかかります。

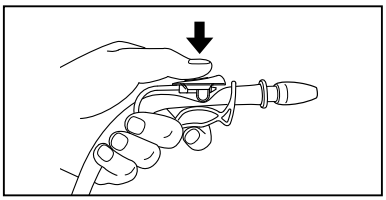
シリコンノズルを鼻腔に対して直角に挿入し、鼻水を吸引します。3～4秒程度の短時間の吸引を何回かに分けて行い、5秒以上続けて吸引しないようにしてください。

※ 吸引物が吸引ボトルの規定容量（220ml:MAXライン）を超えないようにしてください。
（ポンプ内に吸引物が吸引されると故障の原因になります。）
※規定以上の連続運転はしないでください。（5分まで）

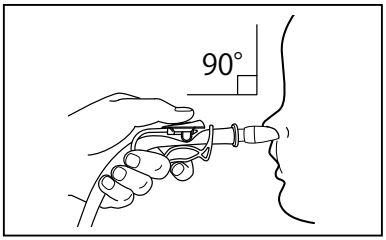


チューブストッパーの使いかた

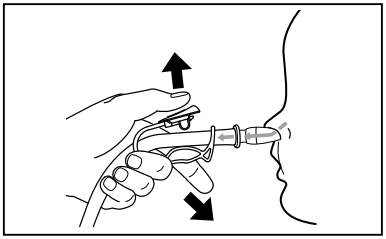
①チューブストッパーを押してチューブを押しつぶし、3～5秒そのままの状態を維持して吸引します。



②チューブストッパーを押したまま、シリコンノズルを鼻腔に直角に挿入します。



③指を離して鼻水を吸引します。



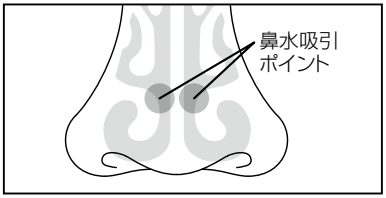
こうすることで、ネバネバの鼻水もかんたんに吸引できます。
※ノズルが鼻に対して垂直になるよう挿入してください。

＜ノズルを使用して吸引力を調整するには＞
シリコンノズルでぴったりと鼻腔をふさぐと吸引力は徐々に上がり、鼻腔から離すと吸引力はすぐに下がります。シリコンノズルを動かしながら吸引力を調整してください。

＜ロングシリコンノズルをご使用の場合＞
別売品のロングシリコンノズルをご使用の場合は付属の使用方法をご覧ください。

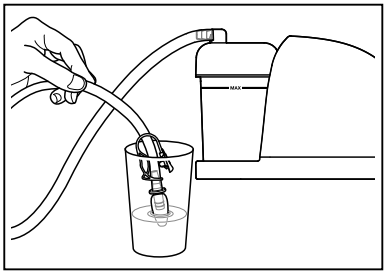
鼻水吸引ポイントについて

鼻腔内部は複雑な構造をしています。奥の鼻水を吸い出すためには鼻水吸引ポイント（小鼻のふくらみの上あたり）にノズルの先端を向けるようにして吸引しましょう。

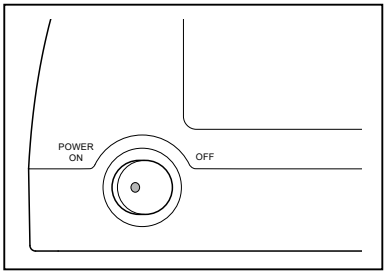


4 吸引終了後は、吸引チューブ内に水を通します。

※吸引チューブの内部に留まった吸引物を吸引ボトルに移動させ、きれいにするためです。



5 電源スイッチを「OFF」にし、ポンプを停止します。



⚠警告

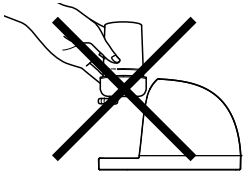
- 本器の操作については、医師または熟練者の指導に必ず従ってください。
- ご購入後、初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは使用前に払拭・消毒を行ってください。

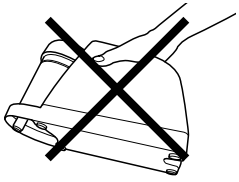
- 本体底面の排気口を塞がないでください。
- 吸引していない方の鼻は絶対に塞がないでください。両方の鼻が塞がった状態で吸引すると耳に負担がかかります。

⚠注意

- 部品は、水気を十分に切ってから取り付けてください。
  （ポンプ内に水などが吸引されると故障の原因になります。）
  ※特にボトルカバー部分に水分が残っていないか確認してください。
- 水または精製水を吸引する際、吸引ボトルのMAXラインを超えないようにしてください。MAXラインを超えると本体内部に水が吸引され、故障の原因となります。

- ボトルセットを本体と接続した状態で回転させないでください。
  （ボトル内の吸引物が本体の中に入り、故障の原因となります。）
- 本製品を横に倒したりしないでください。
  （ボトル内の吸引物が本体の中に入り、故障の原因となります。）

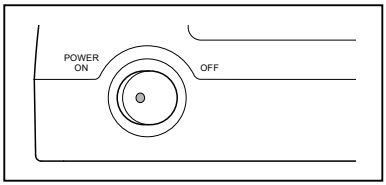




吸引がおわったら

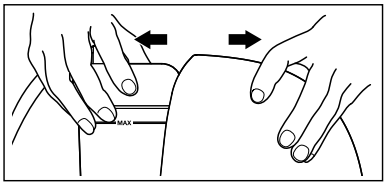
吸引ボトルの取り外しかた

1 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。



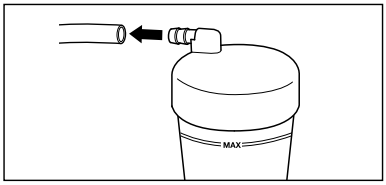
2 ボトルカバーをスライドして本体から取り外します。

※ 吸引物が飛び散る恐れがありますので、やさしく取り外してください。
※ 本体を横に倒したり、ボトルセットを本体と接続した状態で回転させないでください。
（ボトル内の吸引物が本体の中に入り､故障の原因となります。）



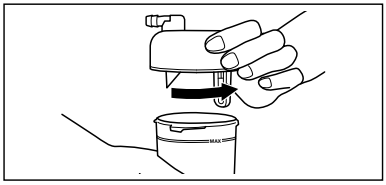
3 吸引チューブ接続口から吸引チューブを外します。

※ チューブを外すときは、必ずボトルカバーを固定してから引っ張るようにしてください。

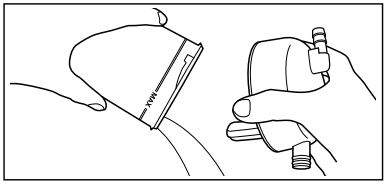


4 吸引ボトルを片手で持ち、もう片方の手でボトルカバーをしっかりつかみ、矢印の方向に水平に回して外してください。

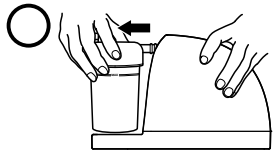
※ フロートが破損する恐れがあるため、ボトルカバーはまっすぐ上に持ち上げるようにしてください。



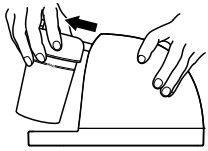
5 吸引ボトルに溜まった吸引物を捨てます。



※ ボトルカバーを外す際は以下の点にご注意ください。



まっすぐ横にスライドして取り外してください。

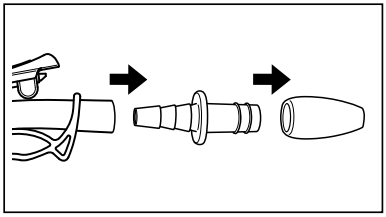


角度をつけて取り外すと、取り付けの部分が破損することがあります。

洗浄・消毒

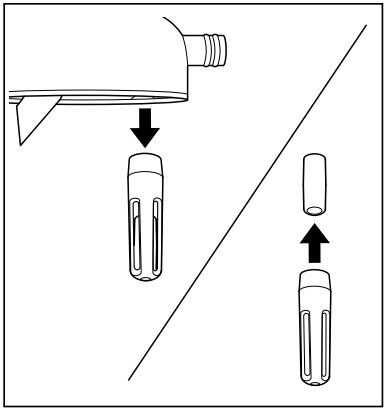
洗浄前の準備

1 本体から外した吸引チューブからノズルコネクターとシリコンノズルを外します。



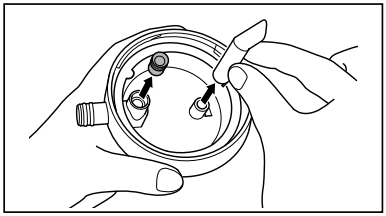
2 ボトルカバーからフロートガイドを外し、フロートを取り出しておきます。

※フロートは、本体への吸い込みを防止するために必要です。なくさないようご注意ください。

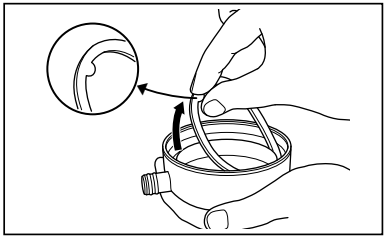


3 ボトルカバーに装着されている、フロートストッパーと排水管を外します。

※フロートストッパーは小さな部品ですのでなくさないようご注意ください。



4 ボトルカバーに装着されている、ボトルパッキンを外します。



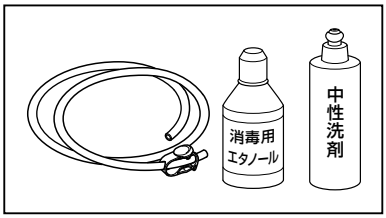
洗浄と消毒のしかた

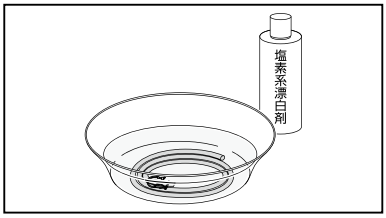
吸引チューブ内部の洗浄と消毒

中性洗剤で洗浄した後、消毒用エタノールで消毒します。

※洗浄後、少量の消毒用エタノールをチューブの内部に通すとかんたんに消毒でき、早く乾きます。

※汚れが取れにくい場合は、家庭用で市販されている塩素系漂白剤を希釈したものに30分～1時間浸け置きをします。その後すすぎ、水分をよく切り乾燥させます。



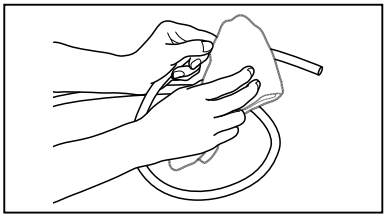


吸引チューブ外部の洗浄と消毒

中性洗剤の水溶液を用いて、柔らかいスポンジ等を使い洗浄します。

※中性洗剤を薄めた水溶液に浸すと、チューブの内部と外部が一緒に洗浄できます。
※洗剤水溶液を吸引しないでください。

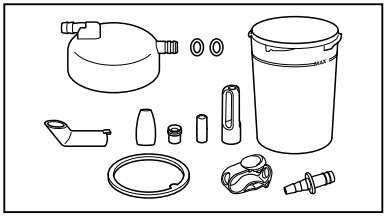
消毒は、消毒用エタノールを含ませた布などで拭きます。



その他の部品の洗浄と消毒

中性洗剤を薄めた水溶液に浸して洗浄した上で消毒液などに浸し、清潔な布などの上で乾かします。

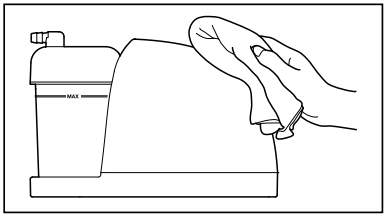
※洗浄する際は、必ず柔らかい布やスポンジ等を用いてください。固いものを使用すると、傷などの原因になります。



本体のお手入れ

本体は水を湿らせた柔らかい布で拭きます。
汚れがひどい場合は、水で湿らせた布に中性洗剤の水溶液を軽くつけて拭き、清潔でよく乾いた布などで拭き取ります。

※アルコール系消毒液は樹脂のひび割れ、印刷の剥がれ等を生じる可能性がありますので使用しないでください。



⚠警告

- 食器洗い機での洗浄はできません。
- お手入れや、部品の取り付け・取り外しのときは、電源スイッチを「OFF」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や誤動作によるけがの原因になります。
- 洗浄・消毒した部品は、十分に水洗いを行い、すみやかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管してください。



- 本体や AC アダプターは防水構造ではありません。水やお湯などで丸洗いしたり、水に浸したりしないでください。



⚠注意

- 本体をベンジンやシンナー等揮発性の薬品で拭かないでください。



消毒についてのご注意

薬液消毒

※消毒の前に必ず洗浄を行ってください。

※各種消毒薬の取り扱いについては、各種消毒薬付属の添付文書および取扱説明書または、各購入店もしくは、各メーカーへお問い合わせください。

1. 部品全体が十分に浸漬できる深めの容器で行います。
（容器はフタのできる遮光性が高いものを推奨します）
2. 管状の部品は空気が残らないように消毒液を通して全体を浸します。
3. 消毒薬が残らないように水で十分にすすぎます。
   ※次亜塩素酸ナトリウムや塩化ベンザルコニウム等の水溶液は腐食性が強いので、必ず水洗いを行い、水溶液を洗い流します。
   ※気化した消毒薬を吸い込むことにより、内部機器を腐食させる恐れがありますのでご注意ください。
4. 直射日光を避け、陰干しで十分に乾かします。

食器洗い機・煮沸での消毒

各部品は、高温により変形する可能性があるため、食器洗い機および熱湯による煮沸消毒はできません。

⚠警告

- 食器洗い機・電子レンジ・煮沸での消毒はできません。
- 食器洗い機・食器乾燥機は使用しないでください。
- 洗浄・消毒した部品は、十分に水洗いを行い、すみやかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管してください。



⚠注意

- 消毒の前に必ず洗浄を行ってください。

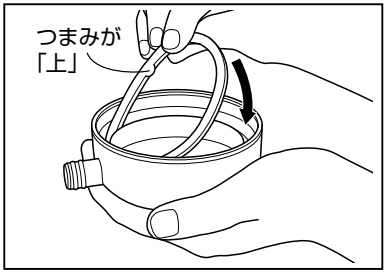


組み立てかた

※部品の組み立てを行い本体に取り付けた上で保管してください。

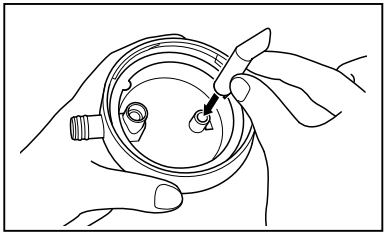
1 ボトルカバーにボトルパッキンを取り付けます。

※溝にしっかりはめ込んで取り付けてください。
※パッキンはつまみが上になるように取り付けてください。



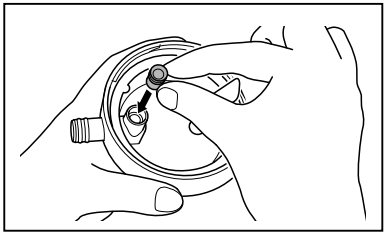
2 排水管を取り付けます。

※排水管は溝にしっかりはめ込んで取り付けてください。

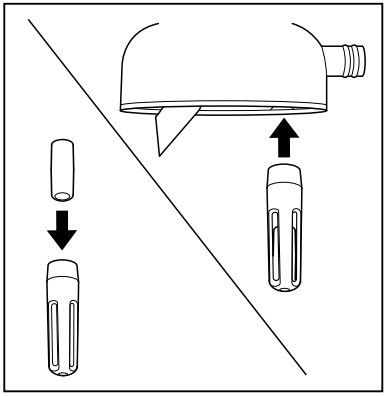


3 フロートストッパーを取り付けます。

※フロートストッパーは広がっている部分を上にして取り付けてください。

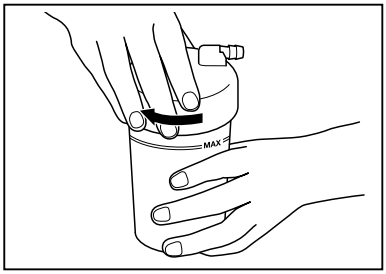


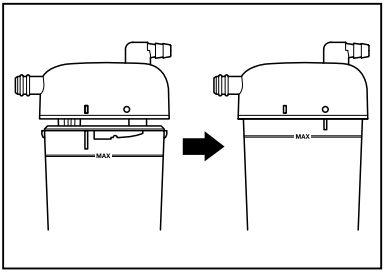
4 フロートガイドにフロートをセットし、ボトルカバーのフロートストッパーに取り付けます。



5 ボトルカバーの「□」と吸引ボトルの「□」を合わせてかぶせ、矢印の方向に水平に回して取り付けます。
取り付けた後は、ボトルカバーの「○」が吸引ボトルの「□」の位置にくるまでしっかり回してください。

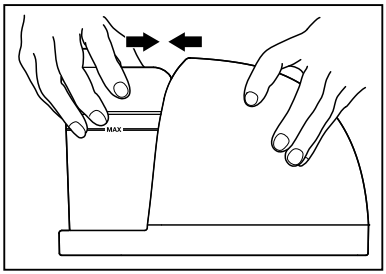
※必ず「□」を合わせてから取り付けてください。
破損する恐れがあります。





6 本体を安定した場所に置き片手で押さえます。
ボトルカバーをもう片方の手で持ちスライドさせて本体に取り付けます。

※角度をつけて取り付けると、取り付けの部品が破損することがありますのでご注意ください。



⚠警告

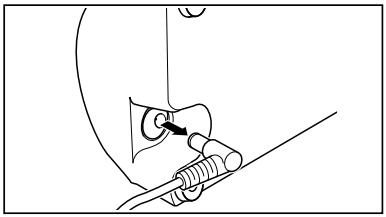
- 部品は水気を十分に切ってから取り付けてください。
- 不安定な場所や、子供の手が届くところには置かないでください。

保管について

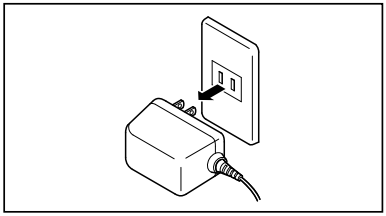
※使用後および保管の際には AC アダプターを本体から外してください。

1 専用 AC アダプターのピンプラグを本体底面の DC ジャックから抜きます。

※角度をつけて引き抜くと、部品が破損する恐れがあります。

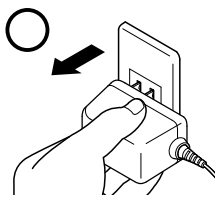


2 電源プラグをコンセントから抜きます。

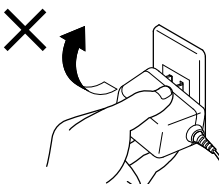


3 清潔な場所に保管します。

※ AC アダプターをコンセントから外す際は以下の点にご注意ください。



コンセントプラグがある上部をつかみ、まっすぐに引き抜いてください。



下から持ち上げて引っ張らないでください。AC アダプターが破損する恐れがあります。

⚠警告

- 不安定な場所や、子供の手が届くところには置かないでください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり触ったりしないでください。

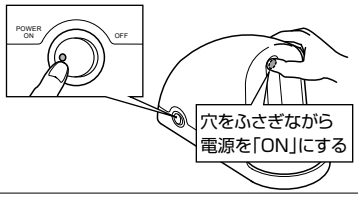
⚠注意

- 次の場所には設置および保管しないでください。
  - －化学薬品の保管場所、ガスの発生する場所
  - －水のかかる場所
  - －ほこり、塩分、硫黄分、湿気などの多い場所
  - －傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所
  - －直接日光の当たる場所

故障と点検について

故障かなと思ったら（修理を依頼される前にお読みください）

動作チェックリスト

現　象	原　因	対　策
本体が作動しない	電源プラグが抜けていませんか。	専用 AC アダプターを正しく差し込んでください。
	専用 AC アダプターのコードが断線していませんか。	専用 AC アダプターを交換してください。
	指定の専用 AC アダプターを使用していますか。	指定の専用アダプター以外は絶対に使用しないでください。
	電源スイッチを正しく入れていますか。	電源スイッチを入れてください。
	製品の稼働時間は 1000 時間を越えていませんか。	使用環境によって大きく異なりますが、ポンプのモーターの寿命は約 1000 時間です。お客様サービスセンターにご連絡ください。
	上記以外の原因	本体内部での異常が考えられます。お客様サービスセンターにご連絡ください。
本体は作動するが吸引しない または 吸引力が弱い	本体の作動不良	◆以下の方法で本体のエアリーク（空気漏れ）テストをしてください。 本体から吸引ボトルを外し、本体の吸気口の穴を親指の腹ですき間がないようにしっかりとふさぎ、電源スイッチを「ON」にします。 そのまま 10 秒ほど吸引した後、親指に吸気口の跡が丸く残れば異常はありません。 その他の部分（ボトル部分）での空気漏れが考えられます。 吸引圧を感じられない場合はポンプの故障の可能性がありますので、お客様サービスセンターにご連絡ください。 

現　象	原　因	対　策
本体は作動するが吸引しない または 吸引力が弱い	ボトル部分でのリーク（空気漏れ）	◆本体のエアリークテストで問題がない場合は、以下の方法でボトルまわりのエアリークテストをしてください。 吸引ボトル、ボトルパッキン、ボトルカバーを正しく装着し、電源スイッチを「ON」にします。そのまま吸引チューブ接続口の穴を親指の腹でふさぎます。ふさいだ指に吸引圧を感じた状態で 10 秒ほど吸引した後、接続口の跡が丸く残れば異常はありません。この場合はチューブやノズルに亀裂がないか確認してください。 吸引圧を感じられない場合はボトルまわりの接続部分の空気漏れが考えられます。次の各箇所のリークチェック（空気漏れ検査）を行ってください。

リークチェック（空気漏れ検査）リスト

チェック箇所	チェック項目	処　置
ボトルパッキン	ボトルパッキンや、ボトルカバー接続口の O リングは正しく取り付けられていますか。 よじれやめくれ、目に見える亀裂などはありませんか。	ボトルパッキンの浮きがないようにしっかりと押し入れ、ボトルカバー接続口の O リングを正しく取り付けてください。 亀裂がある場合は新しいものに交換してください。 汚れている場合は洗浄してください。
吸引ボトルとボトルカバー	吸引ボトルやボトルカバーに、亀裂などはありませんか。 吸引ボトルとボトルカバーが曲がって取り付けられていませんか。	ボトルカバーがななめになっていないか確認してください。ボトルカバーが底面と水平になるように取り付けなおしてください。
上記以外	上記以外	お客様サービスセンター・またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

⚠警告

- 絶対に分解・改造を行わないでください。発火や感電、けがの恐れがあります。

⚠注意

- ボトルカバーへはフロートセットを必ず取り付けて使用してください。

日常点検について

日常点検チェックリスト

点検項目		点検内容	処置方法
専用 AC アダプター		専用 AC アダプター本体、コード、プラグに変形や損傷、断線などがありませんか。	断線など破損している場合は、交換してください。
フロートセット		フロートが円滑に動いていますか。	汚れがある場合は分解洗浄してください。
ボトルカバー		フロートセットが正しく取り付けてありますか。ボトルパッキンが正しく取り付けてありますか。	正しく取り付けてください。汚れがある場合は洗浄してください。
吸引ボトル		ヒビ割れ、傷などがありませんか。	破損している場合は、交換してください。
本体	外観	ボトル接続口は詰まっていませんか。ゴム足（吸盤タイプ）5 個ついていますか。排気口はふさがっていませんか。	異常がある場合は、お客様サービスセンターにご連絡ください。
	電源スイッチ	電源スイッチの「ON」「OFF」動作に異常がありませんか。	動作異常がある場合は、電源の故障が考えられます。お客様サービスセンターにご連絡ください。
	本体内部	動作音に異常がありませんか。	動作異常がある場合は、本体内部の故障が考えられます。お客様サービスセンターにご連絡ください。

保守点検（ユーザー）チェックリスト

点検項目	点検内容	処置方法
ボトルカバー ボトルパッキン フロートセット 吸引ボトル O リング 排水管 チューブストッパー	ヒビ割れ、傷、劣化などがありませんか。	破損している場合は、交換してください。
吸引チューブ	ヒビ割れ、傷、劣化などがありませんか。	汚れがある場合は、洗浄してください。 破損している場合は、交換してください。

⚠警告

- 絶対に分解・改造を行わないでください。発火や感電、けがの恐れがあります。
- 洗浄や交換といった処置は、機器の使用中には絶対に行わないでください。
  感電やけが、破損の恐れがあります。

記号について

記号について

記　号	名　称	説　明
	クラスⅡ機器	クラスⅡ機器とは、電撃に対する保護を基礎絶縁だけに依存せず、二重絶縁または強化絶縁のような追加保護措置が講じられた機器です。
	直流	本製品は直流 12V 駆動です。
	直流コネクター極性	直流プラグまたはジャックの極性です。
	BF 形装着部	電撃に対する保護の程度が、BF 形装着部であることを示しています。IEC60601-1 規格に規定される要求事項に適合しています。
	操作説明参照	操作前に関連する付属文書を参照する必要があることを示しています。 本書（取扱説明書兼品質保証書）および添付文書をよくお読みの上、正しくお使いください。
	EMC 適合	本製品は EMC 規格に適合しています。ただし、他の医療機器、電子機器との併用において相互に影響を生じる場合があります。本書（取扱説明書兼品質保証書）および添付文書に従って正しい設置、取り扱いをしてください。
	注意	安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
	（医）マーク	専用 AC アダプターを医療機器と一体で使用する場合において、PSE（電気用品安全法）と同等の電気安全試験に適合していることを示しています。

仕様と別売品について

仕様について

仕　様

販　売　名	メルシーポット S-504
類　別	機械器具 32 医療用吸引器
一般的名称	電動式可搬型吸引器
医療機器分類	管理医療機器
電撃に対する保護の形式	クラスⅡ機器
電撃に対する保護の程度	BF 形装着部
吸　引　圧	−83kPa ± 10%（最高吸引圧）
ポンプ排気流量	12L/min ± 20%
吸引ボトル容量	220ml ± 15%
電源（専用 AC アダプター）	入力：交流 100-240V(50−60Hz)/0.45-0.30A、出力：直流 12V/1.5A 型番：UMVUU3018-120015SA または MP12M-120150-HU
定格時間	5 分以内
使用環境温湿度	＋ 5℃～＋ 35℃　60%RH 以下（ただし結露なきこと）
保管環境温湿度	− 10℃～＋ 60℃　75%RH 以下（ただし結露なきこと）
気　圧	70kPa ～ 105kPa
外形寸法	幅 224mm × 奥行き 90mm × 高さ 143mm（突起部含まず）
本体重量	約 800g（付属品含む総重量は約 1.02kg）
IP 保護等級	IP22（防滴保護形）
付　属　品	吸引器本体、専用 AC アダプター、吸引チューブ、チューブストッパー、ノズルコネクター、シリコンノズル 2 個、取扱説明書兼品質保証書（本書）、添付文書、かんたんガイド
製造販売元	**シースター株式会社** 〒 108-0075 東京都港区港南一丁目 2 番 70 号

※上記性能は出荷時のものであり、ご使用の期間・頻度などにより性能は低下してきます。性能を維持し、安全にご使用いただくために、日常点検、保守点検（ユーザー点検）および 1 年に 1 度は製造販売元または修理業者による年次点検、整備を行ってください。

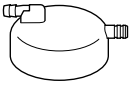
［部品原材料］本体：ABS、シリコンノズル：シリコーン、ノズルコネクター：PP、吸引チューブ：シリコーン、ボトルカバー：ABS、吸引ボトル：PS、フロートガイド：ABS、フロート：PP 発泡剤、フロートストッパー：NR、排水管：ABS、ボトルパッキン：シリコーン、Oリング：シリコーン、チューブストッパー：PP、ゴム足（吸盤タイプ）：シリコーン

別売品について

別売品一覧

吸引ボトル部品

ボトルカバー



（S-504 専用ボトルパッキン / Oリング× 2 個付き）

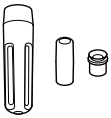
吸引ボトル



排水管



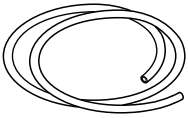
フロートセット



フロートガイド / フロート / フロートストッパー

その他部品

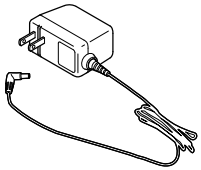
吸引チューブ



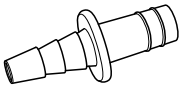
チューブストッパー（ベビちゃんクリップ）



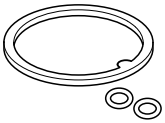
AC アダプター



ノズルコネクター

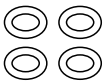


S-504 専用ボトルパッキン



（Oリング× 2 個付き）

Oリング



（Oリング× 4 個セット）

シリコンノズル（ベビースマイル・メルシーポット用）

<スタンダードタイプ>



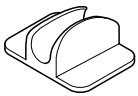
2 個セット
医療機器届出番号
13B1X10068000201

<ロングタイプ>



医療機器届出番号
13B1X10068000202

チューブホルダー



お客様サービスセンターのご案内

本製品に関しまして、万が一故障や不具合などございましたらお買い上げいただいた販売店または下記へご連絡ください。

https://www.seastar.co.jp/contact/

03-4511-8855（土日祝日・夏期および年末年始休業を除く）

ベビースマイルショップ　検索

別売品は上記ネットショップにてお求めいただけます。

商品の詳細はこちら ▶

保証規定と保証書

保 証 規 定

1. 保証期間はお買い上げ後１年間です。
2. 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
3. 取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意に従って正常な使用状態で故障した場合に無償修理または交換いたします。
4. 無償修理を受けられるときは、お客様サービスセンターへ本保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。
5. 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
   （イ）誤った使用、不注意による故障または損傷の場合。
   （ロ）保管上の不備、ご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷の場合。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷などの天変地異、電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   （ニ）弊社の許諾を受けることなく、修理や改造を行った場合。
   （ホ）本保証書の提示がない場合。
   （ヘ）本保証書に販売店、お買い上げ日などの記載の不備がある場合、あるいは内容を書き換えられた場合。
   （ト）付属品以外の部品を取り付けて使用した場合。
6. 保証期間内でも、本体以外は無償修理または交換の対象外となります。

品 質 保 証 書

このたびは、メルシーポット S-504 をお買い上げいただきありがとうございました。
商品は、厳重な品質検査を行っておりますが、万が一、通常のご使用において不具合が発生いたしました場合は、ご購入日より1年間、無償修理または交換をいたします。
お客様サービスセンターへ本保証書をご提示の上修理をご依頼ください。

製品名　電動鼻水吸引器 メルシーポット S-504 ご購入者様 ご住所 TEL　　（　　）	販売店様 ご住所 TEL　　（　　） ご購入年月日

製造販売元
シースター株式会社　〒108-0075 東京都港区港南一丁目2番70号